

2025年6月5日

産業構造審議会
通商・貿易分科会 御中

ユニ・チャーム株式会社
代表取締役 社長執行役員
高原 豪久

通商・貿易分科会にむけて補足意見

1. 戦略的視点

グローバル・サウスにおける中国企業の進出状況を把握し、それに基づいた戦略を立てるべき。特に、現地のニーズを理解し、日本の強みを活かせる分野での競争力を高める必要がある。

2. 産業とインフラ

デジタル技術や社会インフラ整備の普及度を考慮した戦略が必要。地域ごとに地産地消型のサプライチェーンを構築し、現地企業との協力を進めることが、日本の産業の強靱性につながる。

3. 通商戦略とルール形成

1. 世界標準のルール形成

特に衛生材料や日用品などの分野で、相手国にとっても有益な世界標準のルールを形成することが重要。

2. 知的財産権の活用

知的財産権を活用し、他国の参入障壁を作ると同時に、日本の産業を守る仕組みを構築する。

4. 長期的視点

1. 未来への投資

短期的な利益よりも、将来の成長を見据えた投資が必要。これには、既存の蓄積を活かしつつ、新たな分野への注力が求められる。

2. リーダーシップの発揮

日本政府がリーダーシップを発揮し、グローバル・サウスの成長と共に歩む姿勢が重要。